



2018年3月30日

2018年度「みど * リンク」アクション支援対象8グループが決定

第6回「みど * リンク」カンファレンスを4月14日(土)に開催します

東京急行電鉄株式会社

当社は、2018年度「みど * リンク」アクションの支援対象グループを決定しました。また、2018年4月14日(土)に第6回「みど * リンク」カンファレンスを開催します。

この活動は、東急線沿線全域から公募した緑化活動の企画を当社が審査し、特にすぐれたものを支援することで、「みどり」をきっかけとしたまちづくり・コミュニティづくりを応援する活動です。支援対象のグループに対し、1グループ10万円から100万円(消費税込み)相当の物品などを支援します。この活動は2012年度にスタートし、これまで59グループの支援をしてきました。

2018年度の支援グループについては、駅前広場の緑化整備とこどもの遊び場づくり(洗足)など、計8グループを支援します。審査は、「地域の幅広い方々と一緒に継続的に取り組める活動であるか」、「活動の結果が地域の方々に喜ばれるか」、「愛される街づくりにつながるか」をポイントに行いました。各グループの活動については、「みど * リンク」ホームページにて継続的に報告する予定です。[\(http://mido-link.com/\)](http://mido-link.com/)

また、「みど * リンク」カンファレンスでは、この活動で支援を受けた各グループの方々がつながりを深め、学びの場となることを目的に、前年度の活動報告や本年度の支援グループ紹介、基調講演を行っています。本年度は、「コミュニティが生まれる住民参加型・緑化活動について」をテーマに、東京農業大学教授の濱野周泰氏による基調講演を予定しています。

当社は今後も、東急線沿線において、「みどり」という緑化活動の取り組みが「リンク(つながり)」し、沿線内が緑豊かで元気あふれる街になり、未来につながることを地域の皆さまと共に目指します。

以 上

【別紙】

1. 2018年度『みど*リンク』アクション支援対象グループ(8グループ)

<p>1. 花と緑でみんなが心をふれあい笑顔になれる まちづくり(洗足駅)</p> <p>【応募グループ】 洗足グリーンクラブ「オリーブとミモザの会」</p> <p>【活動内容】 駅前ふれあい広場の緑化整備とこどもの遊び場 づくり</p> <p>【支援内容】 芝刈り機、手入れ道具、多年草、腐葉土など</p>	<p>5. BEE FRIENDLY 薔薇 PROJECT(自由が丘駅)</p> <p>【応募グループ】 自由が丘商店街振興組合・環境部</p> <p>【活動内容】 街なかで薔薇を育て、ミツバチや歩行者にやさしく美し い回廊風景をつくる</p> <p>【支援内容】 コンテナ、薔薇の苗</p>
<p>2. 花と緑を通じて人と触れ合い美しい街を作る (たまプラーザ駅)</p> <p>【応募グループ】 NPO法人フラワークラブなな夢</p> <p>【活動内容】 ケアプラザの花壇づくりと子供たちへの花育活動</p> <p>【支援内容】 プロジェクター、鉢、土、改良剤、防虫剤、花苗</p>	<p>6. 旧玉電が展示されている宮の坂駅の駅前花壇に潤 いを(宮の坂駅)</p> <p>【応募グループ】 豪徳寺2丁目町会</p> <p>【活動内容】 宮の坂駅前花壇を常に花いっぱいにする</p> <p>【支援内容】 雨水タンク設置工事、水やりに必要な備品</p>
<p>3. みんなで育てた麦でこだわりの世田谷麦茶を 作る(二子玉川駅)</p> <p>【応募グループ】 世田谷麦茶プロジェクト</p> <p>【活動内容】 みんなで麦を育てて麦茶をつくり、子供たちが参 加するイベントなどで飲んでもらう</p> <p>【支援内容】 脱穀機、耕耘機</p>	<p>7. 日吉のみどりでもてなし&交流(日吉駅)</p> <p>【応募グループ】 慶應義塾大学・日吉丸の会</p> <p>【活動内容】 日本の原風景の再生と英国式ガーデン整備により憩い と交流の場をつくる</p> <p>【支援内容】 刈込機、木杭、掛け矢、プランター、双眼鏡</p>
<p>4. 商店街から緑道まで緑と花がいっぱいのまち 大倉山(大倉山駅)</p> <p>【応募グループ】 大倉山緑と花のまちづくり</p> <p>【活動内容】 子どもから大人まで、幅広い年代の方々の参加 により、大倉山を緑と花でいっぱいにする</p> <p>【支援内容】 レンガ、フェンス、手入れ道具、肥料、苗木、花苗</p>	<p>8. 花いっぱい運動(戸越銀座駅)</p> <p>【応募グループ】 平塚二丁目町会・花と緑の部</p> <p>【活動内容】 各家庭と協力して、路地を花いっぱいにする</p> <p>【支援内容】 プランター、折り畳み式リヤカー、肥料、スコップ、花苗</p>

■過去の支援グループの活動実績(一例)

【落ち葉堆肥で有機無農薬の野菜・果物を育てる活動】

落ち葉を集めて堆肥をつくり、有機無農薬の野菜や果物を育てました。

地域の親子と作物の植え付け、収穫体験や試食会を実施し、子どもたちへ「食育」の取り組みなども行っています。

＜支援内容＞ 落葉集めのブローワー



【花壇作りとまちづくりを行う活動】

若者が中心となって繁華街の花壇の維持・管理や、花と緑によるまちづくりを行いました。

また、花壇には福島産の花を植えて、東北の復興支援にも貢献しています。

＜支援内容＞ 植栽道具・花の苗など



【別紙】

2. 『みど*リンク』カンファレンスについて

カンファレンスでは、2018年度支援グループの紹介、2017年度に支援した8グループが緑化活動に関するプレゼンテーションを行い、互いに情報共有を行い、コミュニティが生まれることを目指しています。また、来場者の投票により、活動団体の中から最優秀活動団体を選定し、表彰式を実施します。講演では、「コミュニティが生まれる住民参加型・緑化活動について」をテーマに、東京農業大学教授の濱野周泰氏による講演を予定しています。

■開催日時：2018年4月14日(土)14時00分～18時00分

■主催：東京急行電鉄株式会社

■会場：二子玉川 カタリストBA（二子玉川駅東口より 徒歩1分）
※住所 東京都世田谷区玉川 2-21-1 二子玉川ライズオフィス棟 8階
※アクセス：<http://catalyst-ba.com/access.html#p1>

■プログラム：

- ・2017年度支援グループの活動報告
- ・講演：東京農業大学教授の濱野周泰氏
- ・2018年度支援グループの紹介
- ・表彰式

■講演概要：

濱野 周泰(はまの ちかやす)、東京都三鷹市出身
東京農業大学 教授

講演テーマ：

「コミュニティが生まれる住民参加型・緑化活動について」

住民参加型の緑化活動を底流にした、緑を通じた市民のコミュニティ形成と緑化活動の持続と拡大のための取り組みについてそのプロセスを含めて述べる。

プロフィール

東京農業大学農学部造園学科卒、博士(生物環境調節学)、東京農業大学大学院 環境共生学専攻指導教授。元日本学術会議連携会員。専門は環境共生地域学・造園樹木学。社会資本整備審議会専門委員(道路部会)、国分寺市農業委員、江戸川区文化財審議委員、花と緑のまち三鷹創造協会理事長、社叢学会副理事長、樹木医学会理事など、その他著書・論文多数。

以上